

事務局案

東海旅客鉄道株式会社

中央新幹線推進本部

中央新幹線建設部 名古屋建設部

担当部長

澤田 尚夫 殿

発生土置き場説明等に関する

要 望 書

長野県下伊那郡松川町

要 望 書

リニア中央新幹線の開業は、経済の活性化、交流人口の拡大など、地域の発展に大きく寄与することが期待されています。しかしながら、今後決定されるトンネル工事における建設発生土置き場に関し、これまでの貴社の説明に対し、予定地付近及び下流域の住民より、不安や住民生活への影響を懸念する声が、当町に多く、また強く寄せられています。

平成 26 年 10 月に、全国新幹線鉄道整備法に基づく工事の実施計画が認可され、平成 28 年 11 月 1 日には、南アルプストンネル（長野工区）の安全祈願・起工式が行われ、当地域における建設工事も、いよいよ本格的に動き出す模様です。

つきましては、事業主体責任者として、特に次の事項について格段の高配を賜りたく、要望いたします。

記

- 1 発生土置き場に対する住民への理解が得られるよう、十分かつ丁寧な説明を納得が得られるまで行い、情報の公開及び透明性の確保に努め、事業者としての説明責任を果たすこと。また、地域に密着し、迅速に対応しうる組織の構築など、体制の強化を図ること。
- 2 貴社からの説明により、住民理解が得られず「反対」との結論もあり得ることを承知のうえ、地域住民、関係機関へ説明をされたい。

平成 28 年 月 日

松川町長 深津 徹

松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員長 関 克義